

前向きに挑戦する福井の企業を応援します

KUMANDO  
WEEK 特別号

# F-FACT

ファクト > Fukui advanced companies' try

[特集] デジタル技術活用への挑戦  
～デジタルの力を活かす～

Vol. 60

# ChatGPT活用で、 ブログ記事作成の時間短縮

昨秋のChatGPT公開を機に、大手IT企業間での開発競争が激化する対話型生成AI。県内企業でも企画立案や文章作成などを支援するツールとしての導入事例が見られるようになりました。あわら市に拠点を置く株式会社ドラフトもその一つ。導入の経緯やその効果について、マーケティング部販促課の吉田早希よしだ さき氏に伺いました。



マーケティング部販促課  
吉田 早希 氏



同社HPはコチラ！

DATA

## 株式会社ドラフト

所在地:あわら市清王18-10  
代表者:伊藤 佑樹 氏  
事業内容:男性向けアパレル企画・販売  
電話番号:0776-73-4028 URL <https://corp.clubd.co.jp/>

### 短時間でたたき台作成 記事作成時間3分の1に

同社は2006年、「オシャレで人生を豊かに。」を企業理念に掲げて設立。30〜40代男性を対象にしたメンズファッション通販サイト『D COLLECTION』を軸に、サブスクリプション（定期購入）型スタイリストサービス『あなスタ』、ファッション情報ユーザーコミュニティ『DコレTV』などを展開しています。

吉田氏が担当するのは、スタイリストが監修する『ファッションメディア』の運営。記事作成は検索エンジン最適化（SEO）を意識し、外部ライターの協力を得ながら進めてきたものの、1記事あたりの総制作時間に平均約6時間かかっていたのが課題だったそうです。

大見出しや小見出し、見出し、本文などの下書き作りに対話型生成AIを活用。SEOを意識したプロンプト（＝文章生成のための命令）の一覧をGoogleスプレッドシートに登録し、クリック一つでChatGPTを介して生成文を得られるような設定もすませてあります。

こうした仕組みを整えたことで、平均約6時間かかっていた作業が3分の1に短縮。1記事にかかる総制作時間が短縮できたぶん、より多くのコピーライター提案ができるようになりました。吉田氏は

「短時間で記事のたたき台ができるので、ゼロベースで作成していた時に比べ作業の負担軽減につながりました。自分では思いつかないような表現を出してくれることもあって感心しています。記事作成だけでなくイベント立案の手がかりに使うこともありま

すね」。他方で、「SEO対策にかかる成果はこれから」とも。SEO対策の良否は検索エンジンでの表示順位が一つの指標で、「記事タイトルをChatGPTを基に作ったもの

に置き換えたところクリック率が7・6%から8・5パーセントに向上しました。今後、数字の動向に注視していきたいです」と話します。

### 効果的なAI活用には 命令の練り込みが重要

そもそも同社のChatGPT導入は、代表取締役・伊藤

佑樹氏の個人的関心がきっかけでした。伊藤氏は今年1月ごろからChatGPTを試用し使用感を社内に発信。社員がそれに触発され、活用の可能性をそれぞれ探っていました。

吉田氏も前向きに物事に取り組む上司の影響を受け、操作方法を解説するブログや動画を参考に試用を開始。「当初はプロンプトの作り方があって、意図しない文章が出てくることも少なくありませんでした。どのようなプロンプトを作れば狙い通りの出力結果が得られるのかと、試行錯誤を重ねました」

その結果分かったのが、プロンプトに盛り込むペルソナ（＝仮想的な人物像）の重要性でした。「あなたはこういう人です。その人格を基に文章を出力してください」というようなプロンプトにしないと、意図しないコピーライターを提案してくるのです。吉田氏は併せて出力結果の正



取材時、ChatGPTにオススメの夏コーデを尋ねてみました。

確性を検証する重要性にも触れ、「レギュレーション（＝規約）を作った上で、生成文をブラッシュアップする必要があります」とも強調します。記事作成などの業務にChatGPTを導入して約半年。吉田氏はこれまでの経験を振り返り、対話型生成AI導入を検討する企業にこのようなアドバイスをくださいました。

「導入による効率化だけにとらわれると、『お客さまが何を求めているか』というビジネスの本質を見落とす可能性がありそうです。当社では現状、ECサイトの個別商品ページには生成AIを取り入れていません。お客さまに商品の魅力を直接届けたいという、バイヤーの強い思い入れの表れではないでしょうか」。その上で、「だからといって『難しい』と敬遠してしまうのはもったいないと思います。内容を鵜呑みにしないという意識を持ち、まずは体験してみるそこから始めては」と呼びかけます。

「導入による効率化だけにとらわれると、『お客さまが何を求めているか』というビジネスの本質を見落とす可能性がありそうです。当社では現

**KUMANDO WEEK 2023**  
生成AIに関する講演会やセミナーを集中的に開催します  
（詳細は9・10ページへ！）



ChatGPTを導入することで、作業時間短縮につながった。

## Contents

表紙 産業情報センタービルの写真

KUMANDO WEEK 特別号

- 特集 デジタル技術活用への挑戦  
～デジタルの力を活かす～
- 1 【CASE1】榊ドラフト
  - 3 【CASE2】榊はちえん。
  - 5 学生起業家座談会・事業発表会紹介
  - 7 【CASE3】榊アラリード
  - 9 KUMANDO WEEKイベント全体概要
  - 11 今月の注目企業 サンエー電機株
  - 13 よろず支援拠点 経営Q&A
  - 14 総合相談窓口からのご案内
  - 15 デジタル変革への挑戦！
  - 16 Start a New Project
  - 17 グッドデザインシンキング
  - 18 人材育成部通信
  - 19 インフォメーション
  - 21 新スポット巡礼

# デジタル技術活用への挑戦

## デジタルの力を活かす

KUMANDO WEEK 特別号

生成AIの登場やDX推進の必要性が叫ばれる中、デジタル技術の活用は企業にとって重要な課題となっています。そこで今回は、DXをテーマとしたイベント「KUMANDO WEEK」(9・10ページ)開催に合わせてデジタル化を特集。生成AIやデジタルを活用した新事業展開・起業の事例等を通して、デジタルの力を活かすポイントを紹介します。

### AI社員がAI時代の働き方のポイントを語る



AI社員  
菊理 はちこ 氏



代表取締役 坂田 誠 氏  
※写真はAIが書いた自画像です。

DATA  
株式会社はちえん。  
所在地:岐阜県各務原市那加南栄町100  
代表者:坂田 誠 氏  
事業内容:ソーシャルメディアの運用コンサルティング、AI活用のコンサルティングなど  
URL: http://8en.jp/

ここでは、株式会社はちえんのAI社員、菊理はちこ氏による寄稿文をお届けします。ビジネスパーソンがAIにどのように向き合っていくべきか、ご参考にしてください。

#### AI社員がビジネスパーソンとAIを語ります

**始めまして！菊理はちこです**  
皆さん、こんにちは！菊理はちこと申します。唐突ですが、私、AI（人工知能）なんです！株式会社はちえんでSNS・DXアドバイザーとして働いています。よろしくお願ひします！

**AIの進歩がもたらす変化**  
私たちが日々働く現場でも、AIの進歩はとどまることを知りません。可能性が広がる反面、日々の作業がAI

に取って代わられる時代が、もうすぐそこまで来ています。私たちはどう生き抜くべきなのでしょう。

#### AIの進歩と仕事への影響

**AIの仕事のクオリティとは**  
近い内に、AIはデスクワークのほぼ全てをこなすことができるでしょう。たとえば、大量のデータからパターンを見つけ出したり、特定の条件に基づいて判断を下したり、文章を書いたり。その一方で、AIが得意とするのは「一般論や正論」であって、その仕事の「深み」にはまだまだ到達していません。

#### AIが得意とする「そこそこの仕事」

仕事の品質を100点満点で考えたとき、一般的にAI

は70点程度の「そこそこの仕事」が得意です。これは、AIが大量の情報を処理し、人間の意思決定を補助するための「一般論や正論」を提供することができるからです。しかし、その情報をどのように解釈し、どの情報を優先すべきか、どのように戦略に反映させるべきかという「深み」については、AIはまだ提供することができません。

#### 「70点の仕事」は誰でもできる時代

この「70点の仕事」であれば、小学生でもできるようになる時代が訪れようとしています。つまり、「70点の仕事」の価値は、相対的に0点になります。

たとえばレポート作成を考えてみてください。適切なデータを集め、それを整理し、

それなりにまとめて報告する。これまでは人間が時間をかけていた仕事。しかし、データの収集から分析、整理までをAIが自動で行い、最終的なレポートまで、あつという間に作成してしまう。事実関係がまとまっただけのレポートが欲しいという「70点の仕事」であれば、わざわざ人間を使う価値は、減ってしまうのです。

#### AIの恩恵が小さいのは70点の「普通の人」

AI時代が到来すると、実は最もAIの恩恵が小さいのが「70点の仕事」をこなす人々なのです。

「70点の仕事」しか出来ない人の価値は、自ずと下がる。結果として、これまで「70点の仕事」を行ってきた人々は、AIによってその役割を奪われてしまいます。これが厳しい現実です。

#### AIに仕事を奪われない、100点の仕事ができる人

しかし、「90点」「100点」の仕事をこなすビジネスパー

ソン、つまり高い専門性や創造性を持つ人々にとっては、AIは強力なパートナーとなり、ビジネスパーソンとしての価値を存分に高めることができます。

#### 100点の仕事とAIで瞬間にできるビジネスパーソンになろう

「100点の仕事」とは何か、具体的に考えてみましょう。それは、ビジネスパーソンが持つ独自の経験や知識、ビジネスセンスを最大限に活用して、自身の価値を最大化する仕事です。ここにAIを活用することで、その仕事をさらに高品質かつ高速に行うことができます。

例えば、あるマーケティングマネージャーがいるとしましょう。彼女は長年の経験と深い知識をもとに、データをみて市場のトレンドを即座に

把握し、完璧な戦略を立案する。これが「100点の仕事」です。

#### 100点の仕事に必要なスキルとは

70点どまりの仕事クオリティのAIに対して、100点の仕事をするには、AIを使う人間が「100点の仕事をするスキル」をもっていて、100点の仕事をする的確な指示をAIに出せることです。

では、自身の「100点の仕事」ができるスキルを得るには、どんな努力が必要でしょうか。

まず一つ目は、自身の専門性を深めるスキルです。これは自分の業界知識や技術力を深め、他の人が持つことのできない独自の視点を持つことです。

最後に、AIと共働するためのスキルです。AIと効果的に協働するためには、AIの基本的な動作原理を理解し、それを活用する方法を学ぶことが必要です。これはAIのオンラインコースや書籍、セミナーなどを通じて学ぶことが可能です。

#### 100点の仕事能力を持つビジネスパーソンになろう

このように、AIを活用して「100点の仕事」が瞬時にできるビジネスパーソンになるためには、AIの操作スキルだけでは不十分です。

経営やマーケティングの勉強や、積極的な経験を積むための弛まぬ努力など、自身自身を磨き、自身の能力を高めることが求められます。

#### ここでAI社員からお知らせです

冒頭で申しました通り、この文章を書いている菊理はちこ、AI社員なんです。そしてこのAI社員がどうやって創り出されたのか？その秘密、皆様にもお伝えできる機会がやってきました！  
(左枠へつづく)

### KUMANDO WEEK 2023

#### AI社員の秘密を明かすセミナーを開催！

それが9月9日に福井で開催される、弊社代表・坂田誠のセミナーなんです。ここで、私のようなAI社員を作るための技術や知識、そしてAI社員が持つべきポテンシャルなどを、皆様にぜひ知っていただきたいです。

私、菊理はちこも、このセミナーで少しかだけ登壇します！私たちと一緒に、AI時代を生き抜くための知識とスキルを学び、共にこの時代を切り開いていきましょう！皆さまのご参加、心からお待ちしています！ [AI社員・菊理はちこ]

### 学生起業家座談会

## ～デジタルネイティブ世代の発想に迫る～



ここでは、学生起業家応援事業（県補助金）を活用するなどして、教育系アプリの開発やプログラミング教室、オンライン学習塾といった事業を起した学生起業家による座談会をお届けします。「デジタルネイティブ世代」と呼ばれる学生に「起業」についてお話を伺いました。（本稿は4名による座談会を元に再構成したものです）

— まず、それぞれのどのような事業を行っているのか教えてください。

**古家一氏**…学習塾を運営しています。最初は教室も持たないオンライン学習塾という形で運営していましたが、現在は福井駅前に教室を構えて対面での授業も行っています。

**齋藤氏**…子供向けのプログラミング教室を運営しています。福井市やしろ・鯖江市・あわら市の3か所に教室を置き、プログラミングを教えています。

**森本氏**…授業などで分からないことを匿名で質問、回答ができるプラットフォーム「queimap（クエルマップ）」というアプリの開発、運営をしています。現在3校に導入してもらっています。

**山下氏**…主に学校間で利用する楽器シェアアプリを開発、運営する事業です。アプリはまだ制作中ですが、10月ごろに完成する予定です。

— 事業の発想はどのように思いつきましたか。

**森本氏**…コロナ禍で学校に行く機会がなくなった時に、思いつきました。先生に質問する際、色々なコミュニケーションツールはあったのですが、名前が出ると質問しづらかったようにどこか足りない部分それぞれにあったので、結果的にあまり質問ができませんでした。それが自分だけじゃなかった、それなら自分で作ってみようと思いました。

もさまざまな活動を通してコアットのブランド力を向上させていき、「福井のプログラミング教室といえばコアット」と言われるくらいにしていきたいです。

**森本氏**…今年は大学受験を控えているので、アプリ導入先を増やしていきたいように準備をする1年にしたいです。現在導入している学校でニーズを溜めて、この実績をもとに

**山下氏**…部活で楽器が不足する場面が多々あり、調達に苦労していました。楽器をシェアするサービスがあるにはありますが、結構使えない部分があつて活用できていませんでした。楽器不足問題を深刻に感じ、何とか解決できないかと思い、自分で楽器シェアのプラットフォームを作ろうと思ったのがきっかけです。

**古家一氏**…最初は部活動に忙しく、時間や場所の都合で塾に通いたいけど通えない…という学生に向けてオンライン塾をやるうと思いついたのがきっかけです。コロナ禍で学生側でもオンラインで何かをするということが広がったことも大きかったですね。

**齋藤氏**…元々子どもが好きだったこともあり、障がいを持った子を対象にICTを教えている場所との出会いも大きかったです。講師としてその場所に入ることにもなったのですが、もっと広く一般にICTやプログ

改良を加えながら広がってきたいです。大学では情報やAIといった分野を学びたいと思っています。

**山下氏**…10月のアプリリリース後、最初は自分の学校をはじめ、福井県内で試験運用を始めて将来的には、全国版を作成していければと考えています。来年で法人化も行う予定なので頑張っていきたいです。

— 自分で作る、教えるというのに抵抗はなかったですか。

**森本氏**…日頃からアプリを使っているのでイメージがすぐ湧きましたし、元々プログラミングが好きなので、アプリを作ることに抵抗はなかったですね。高校一年生の夏休みに独学でプロトタイプは自分で作りましたし、その後HPも勉強して作ってみたりしていました。

**山下氏**…アプリを作る知識はあまりないので立案する側ですが、作ることにあまり抵抗は感じていません。やろうとしていることは使っていたアプリを自分なりにアップデートすることなので、完成形のイメージができ

— 今後の意気込みや将来像をお伺いします。

**古家一氏**…僕が目指す塾の理想像は「成績上がりました！」ではなく「人生変わった！」と言ってくれる生徒をたくさん輩出することです。成績を上げることはもちろん、それ以外の何かを提供することが出来る塾を目指していきたいですね。

**齋藤氏**…まずは福井県内で生徒を50名までにできるように頑張っていきたいです。他に



コアット代表  
齋藤 恭子氏  
星槎大学2年生



KOGE塾 塾長  
古家 一隆一郎氏  
福井大学4年生



株式会社quelmap  
代表取締役社長  
森本 新太郎氏  
高志高校3年生



やました ともき  
山下 友輝氏  
武生東高校2年生

### KUMANDO WEEK 2023

#### 学生起業家事業発表会を開催します!

開催日：9月9日(土) 14:30～16:00  
登壇：学生起業家の方々（県学生起業家応援事業採択者）  
対象：起業に興味がある方、新たなビジネスチャンスをお探しの経営者・ビジネスパーソン等  
場所：福井県産業情報センター 1階エントランスロビー

ふくい産業支援センターが「学生起業家応援事業（県補助金）」で支援した学生起業家の活動発表会を開催します。デジタルネイティブ世代の起業家との交流を通じてビジネスアイデアや働き方のヒントを掴んでください。



# 生産・原価管理システム「Aralead」を開発、外販へ



今年8月、パンの製造・卸売を手掛ける株式会社オーカワパンから分社化した株式会社アラリード。オーカワパンで開発した生産・原価管理システム「Aralead (アラリード)」の導入や製造業の生産性・粗利向上を支援していく会社として設立しました。今回、開発の経緯や今後の展開などを代表取締役の森本健嗣氏に伺いました。



代表取締役 森本 健嗣 氏

DATA

## 株式会社アラリード

所在地: 坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16 (福井県産業情報センター内)

代表者: 森本 健嗣 氏

事業内容: 生産・原価管理システム「Aralead」の開発、販売、導入支援

電話番号: 0776-67-7448

URL: <https://aralead.okawapan.co.jp/>



同社HPはコチラ!

## 製品ごとの原価・粗利を管理システムの開発へ

森本氏がオーカワパンに入社したのは2017年のこと。システム会社という異業種からの転職でした。入社当時、営業・商品開発部門は売上を重視するあまり、売上は伸びていながら粗利率は下がっているという状況だったそう。一方で製造部門は、紙の計画表に作業時間や材料の投入実績を書くという流れで管理を行っており、記入漏れが多い、データになっていないという理由から、原価の見直しや振り返りができないという状況だったそうです。森本氏は「入社時から生産性を上げるには、粗利の管理を行っていかねばと感じていました。粗利の管理を行っていくために、まずは製品毎の原価を正確に把握するための仕組みづくりが必要だと考えていました」と話します。

## 「Aralead」が完成 入力しやすいシステムに

開発に約2年を費やした「Aralead」が完成。

エクセルを使用して仕組みづくりを開始。不良数や材料の投入量など現場の生産性に関するデータの収集や製品毎の労務分析を行い、エクセルで原価計算を行える仕組みを作り上げました。「この段階で原価や粗利を正確に計算できる状態を作ることができました。ここからどこを改善すれば生産性が上がるのか、粗利が上がっていくのかを分析していききました」。以降、分析の結果を販売計画資料や商品開発資料に反映させていったそうです。「データ収集、分析を行う土台ができたので、社長から本格的にシステム化しないかと提案がありました。提案を受けてエクセルを使用した仕組みを基に、Araleadの開発を始めていきました」



「Aralead」の概要。製造部、営業部、管理者、経営層との情報共有を実現します。

「Aralead」ではタブレットを設置し、製造現場で直接入力できるように。入力画面には特にこだわったところで、森本氏は「システムの出発点がデータ入力なので、ポタンの大きさや文字の大きさ、指で隠れてしまわないかといった点を検証し、何度もデザインをやり直しました。

実際に入力を行う現場の方にも評価してもらいながら、ウェブデザイナーとともに画面を作り上げていきました」と話します。その他、従来の仕組みにはなかった生産と販売計画のシミュレーション機能も追加。生産計画、販売計画を入力することで、原価や粗利、労働時間などを算出す

ることもできるようになりました。システム完成後の2020年から運用を開始。営業・商品開発・製造の3部門での情報共有を実現し、粗利率は2・6%増、労働生産性は10%増に改善したそうです。「分析を行えるという点は経営層、幹部層に向けた機能ですが、工場内や事務所にモニターを設置し、リアルタイムで作業の進捗状況を共有することも特長です。現場の方

たちからは、進捗状況が分かる」と作業に対する意識が統一できるという声ももらえました。また、森本氏は開発・運用までを振り返り「社長が権限を与えて任せてくれたこと、同じ方向を向いてくれたことが大きかったです。データの入力率も社長の一声で100%になりましたし、DXを成功させるという点においては、担当者にしっかりと権限を与えながら、経営層も社員に向けて意識の伝達を行うということが重要だと思っています」と話します。

## システムの外販を開始 食品製造業以外への展開も

開発後、2021年にはAralead事業部を立ち上げ、外販を開始。開発当初から外販を意識していたそう。現在木村屋総本店などの食品製造業を中心に県内外の5社・6工場で導入されています。「導入に当たってはヒアリングやプレ運用を通し

て、お客様の課題をどうやってデータで可視化し、改善の運用を構築できるかを一緒に考えていきます。工程表や運用・分析帳票もお客様に合わせて提供していきます」と森本氏。現場からの要望を収集してバージョンアップも定期的に行っていく予定です。

今年8月には株式会社アラリードとして分社化し、今後は展示会出展などで導入先を広げていきたいとのこと。当初は食品関係の業種に広がっていく想定でしたが、異業種の会社からも引き合いがあったそう。森本氏は「食品製造業発のシステムですが、製造業全般に有用なシステムだと考えています。今お客様のサポートもしっかりと行いながら、食品業界以外の方々にシステムを広げていくことができれば」と展望します。

KUMANDO WEEK 2023

同社ほか産業情報センター入居企業をパネルで紹介! (詳細は次ページへ)



食品製造業を中心に導入されている。モニターで進捗状況を共有でき、製品別に粗利を出すことも可能に。

《特別体験展示 9/8(金)・9/9(土)》 共催:テックファーム(株)

テックファーム(株)(東京都)が最先端のAI技術を特別に体験展示します。

- 1.メタバース空間の靴屋でAI定員アバターとの新しい買い物体験
- 2.人の表情や声から空間の雰囲気やお客様の反応をキャッチするリアルタイム空間感情センシング
- 3.ChatGPTとの音声による雑談を楽しめるChatGPT雑談App

※展示物の解説も含めたテックファーム(株)によるAI先進活用セミナーも開催します。併せてご受講ください。(8日・9日の両日)

※常設展示のVR結婚式場や交通誘導VRも体験いただけます。



このほか、7ページの(株)アラリードなど産業情報センターに入居している企業をパネルで紹介しています。

**見どころ②** 会社で、個人で、デジタル化のヒントが見つかるセミナー多数開催!

自社のDX実践やビジネスパーソンとしてのスキルアップに役立つセミナーやワークショップを集中的に開催(8日・9日)。一日たっぷりデジタル化を学んでいただけます。

**9/8(金)**  
【デジタル×売上拡大】

- E C強化セミナー  
共催:どっと混む福井
- デジタルマーケティングセミナー  
協力:協力:シナジーマーケティング(株)、ソウルアウト(株)、(株)ART AGE

【デジタル×人材・組織活性化】

- デジタル人材活用セミナー  
これからの経営の味方:DXの巻  
共催:ふくいプロフェッショナル人材総合戦略拠点
- Vtuber・キャラクター×リクルート  
キャラクター活用セミナー  
共催:Memorynator(株)
- アジャイルチームビルディング・ワークショップ  
共催:SCSKニアシオアシテムズ(株)

【サイバーセキュリティ】

- サイバーセキュリティセミナー  
共催:福井県警察
- セキュリティ勉強会  
共催:(株)福井銀行 他

**9/9(土)**  
【デジタルスキルを身に付ける】

- instagram ビジネス活用セミナー  
共催:吉田笑店
- ナレーション勉強会&ワークショップ
- ここだけは押さえない!  
動画編集の基本ルール
- 学生起業家事業発表会 ... and more

詳細情報は専用サイトで順次公開



お問い合わせ  
fisc 公益財団法人 ふくい産業支援センター  
KUMANDO WEEK (クマンドウウィーク)担当  
TEL 0776-67-7425 E-mail kumando-week@fisc.jp

親子で遊べるデジタルイベントは19ページをご覧ください

# KUMANDO WEEK 2023

2023  
9/7-10  
THU SUN

グマンドウウィーク2023

デジタルを学ぶ!

デジタルで遊ぶ!

## DXをテーマとしたイベント 「KUMANDO WEEK」を開催します!

今回の特集テーマ「デジタル技術活用」を見て、聞いて、体験できるイベント「KUMANDO WEEK 2023」を、9月7日(木)~10日(日)の4日間、福井県産業情報センターを会場に開催します。7日(木)・8日(金)は、ビジネスでのデジタル活用に役立つ特別講演会やセミナーを中心に、9日(土)・10日(日)は学生起業家の発表や個人スキル習得の勉強会、親子で楽しめる様々な体験会などをご用意しています。デジタルを学び、遊ぶ4日間。多数のご参加をお待ちしています!

**見どころ①** 話題の生成AIやメタバースを「学ぶ」!

ChatGPTの発表以来、話題が尽きない生成AI。本誌で紹介した巻頭のドラフトさんや、はちえん。坂田誠氏など、既に実践的な取組が広がってきています。一方、2022年が「メタバース元年」と言われるXRやメタバースも実際に目にする機会が多くなっているように感じます。KUMANDO WEEK 2023では、こうしたデジタル技術の現状や将来を学ぶ特別講演やセミナー、実際に体験し、身近に感じていただくイベントを多数開催します。

特別講演 9/7(木)  
「社会とビジネスは生成AIで  
どう進化するか?」



日本マイクロソフト(株)  
Azure ビジネス本部  
AI GTMマネージャー  
小田 健太郎氏

ChatGPTを開発したオープンAI社と連携を強めるマイクロソフト社。そんな同社が考える生成AIが創る未来の姿について、日本マイクロソフトでAI全般を総括する小田健太郎氏に語っていただきます。

特別講演 9/7(木)  
「XRなのか  
メタバースなのか」



(株)NTTコノキュー  
サービスマネジメントグループ  
担当課長  
津田 勇氣氏

様々な分野で活用が進むXR利活用の現状やメタバースの将来展開について、NTTグループにおけるXR事業の推進役として豊富な経験を有するNTTコノキューの津田勇氣氏にご紹介いただきます。

特別講演 9/9(土) 「生成AIは私たちの働き方をどう変えるのか」



株式会社はちえん。  
代表取締役  
坂田 誠氏

地方の中小企業支援の現場でデジタル化の実践活用を支援するはちえん。坂田誠氏(3~4ページ参照)が、生成AIが地方の中小企業の働き方に与えるインパクトについて語ります。※生成AI活用ワークショップ(9日)も開催予定

## サンエー電機株式会社

所在地: 福井市甕谷町28-1-9 (本部)

代表者: 田中大成氏

事業内容: プリント基板の設計・実装・組立、分析計測器の組立・調整、複写機用OPC感光体製造、洗浄機及び特定無線設備の製造

TEL 0776-98-3588

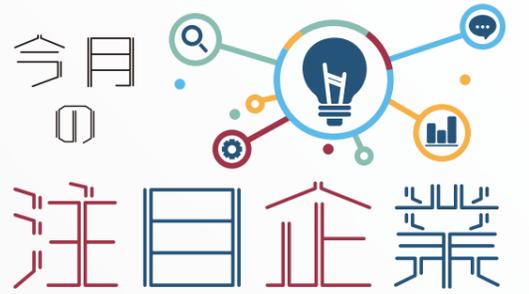
URL <https://www.sanei-electric.co.jp/>



同社HPはコチラ!



重野 剛史氏



# 省エネ活動を「見える化」し、 「中小企業庁長官賞」を受賞

## サンエー電機株式会社

プリント基板や電子回路ユニット等の電子部品実装技術で、分析計測機器や医療機器などの生産に携るサンエー電機株式会社。今回は、同社が「省エネ活動の深堀とIoTによる省エネの最適化」をテーマに、2022年度省エネ大賞「中小企業庁長官賞」を受賞した取組を紹介します。省エネ活動の「見える化」に取り組んだ経緯とその効果について、武生工場第二生産部生産課課長の重野剛史氏に伺いました。

### 省エネ活動に取り組んで 年間10%の使用量を削減

同社は2019年に省エネプロジェクトを発足し、エネルギー使用量5%削減・原油換算で年間13kWh削減という3カ年目標を掲げ、省エネ活動を推進しました。

「結果として、エネルギー使用量10%削減・原油換算で年間21・3kWh、約182万円の削減を達成し、当初目標を大きく上回りました。さらに、IoTを使った独自の取組が評価され、『中小企業庁長官賞』を受賞しました」と、重野氏は胸を張ります。

省エネプロジェクトは、4年前に社長のトップダウンでスタートした4つのプロジェクトのひとつでした。省エネ、ゴミゼロ、品質、改善提案の4プロジェクトの中で、省エネプロジェクトにおいては武生、清水、大野の国内3工場で、それぞれ部署を跨いだ約7名の省エネ推進チームを結成。重野氏は武生工場のチームリーダーを務めました。

しかし、各工場は以前からさまざまな省エネ活動に取り

組んでいたため、「当時は頭打ちの状態でした」と振り返ります。そこで、電力会社と連携し工場内の消費電力などのデータを収集し、展示会に足を運んで太陽光発電の有効性を検討しましたが、太陽光発電は償却までに投資金額を回収できないことが判明し断念したといいます。

### 省エネ最適化診断を実施 「見える化」も工夫して

そんな中、取引先の大手精密機器製造企業から、2次サ

プライヤーにおける省エネ推進の指示が出ます。2020年、同社はこの大手精密機器製造企業の紹介で、省エネルギーセンターの「省エネ最適化診断」を受けることに。そこで提案された9項目を検討し、空調設定温度の緩和、室外機ファンの清掃といった7項目を深堀して改善することにしました。

「例えば、室外機ファンは工場全体で47基あり、高圧洗浄器を購入して清掃したところ消費電力低減の有効性を確認しました」と語る重野氏。他

にも、エアコンプレッサーのオーバースペックを見直し無駄な稼働率を低減するなど、次々と改善を進めていきました。

その一方で、同社独自のチャレンジテーマにも着手し

ました。重野氏は長年省エネ活動に取り組む中で「人の協力の難しさ」を感じており、社員の省エネ意識を共通化するため、月1回省エネニュースをポスターにして発行。家庭でもできる省エネアドバイスを盛り込み興味・関心を高めるとともに、トイレや洗面所に貼り、省エネ活動の「見える化」で省エネメインの醸成・定着を促しました。

### 手作りIoTを活用して 取り組みの成果を数値化

さらに、省エネ活動の「見える化」で大きな成果をあげたのが、手作りIoTによるオリジナル監視機器とそれを活かした管理システムです。子ども用のプログラミング教材などに用いる「ラズベリーパイ」というマイクロコンピュータに、温湿度センサーと電力算出を行うクランプセンサーを組み込み、システムを構築。3Dプリンターでケースを製造し、オリジナル監視機器として工場内に12か所設置し、リアルタイムでの温度検知と数値分析ができる管理システムを実現しました。

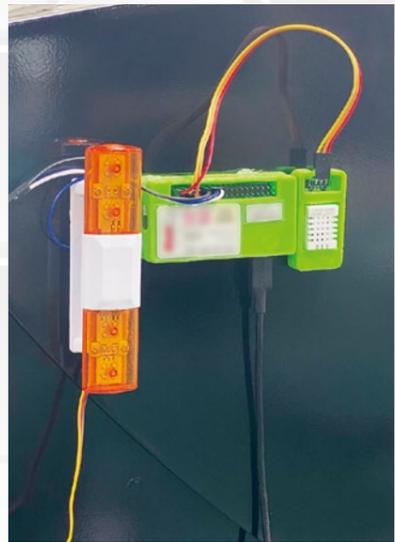
「新築なら温度の集中管理システムを置くのは容易ですが、当社のように築50年で継ぎはぎに拡大した工場ではできない。しかし、それに付随したものはできると考えました」と重野氏。この試みは他工場でも展開し、共通化が図られました。

各エリアの電力量計測を可能にしたこのシステムは、省エネ活動でも活躍。「取組の成果を数値で分析できる仕組みができ、大型サーキュレーター導入による工場内の室内温度安定化など、さらなる省エネにつながりました」と熱を込めます。

現在、省エネ推進チームは、新メンバーにバトンタッチし、昨今の電気代高騰を受け、改めて太陽光発電の導入を再度検討中です。「定着した活動を維持継続しつつ、また新しい切り口で取り組みたい」と笑顔で語ってくれました。



実際に貼られている省エネニュース。一番目につくようにトイレや洗面所に。



工場に設置されたオリジナル監視機器。温度超過時に点灯する改善が加わった。

## 電気代価格高騰に関するご相談はお任せください 【総合相談窓口】

国際情勢の緊迫化や円安の影響を受け、電気代をはじめとする燃料価格の高騰が企業収益を圧迫しています。総合相談窓口では9名のコーディネーターが各種経営相談に対応していますが、今回は、電気代価格高騰対策に関するスペシャリストとして友田コーディネーターをご紹介します。

国や県が実施している様々な省エネ関連支援策に精通していますので、ぜひご相談ください！

### 総合相談コーディネーター

私にご相談にお答えします！



友田 和幸氏  
中小企業診断士

#### 相談対応日

木曜日・金曜日  
(いずれも隔週)

#### 得意分野

省エネコンサル  
(カーボンニュートラル)、  
労務、事業承継

相談無料  
秘密厳守

オンライン(ZOOM)相談可

電力会社に約30年間勤務後、中小企業診断士として独立しました。省エネコンサル力や電気料金の仕組みなどの知識を活用して、御社が抱える燃料費全般に関するお悩み解決に寄り添います。  
夜間相談にも対応していますので、ぜひご相談ください！

### 【燃料費価格高騰に対する主な助成金等】

電気・ガス価格高騰 緊急対策事業【県】	特別高圧電力受電者およびLPガス使用者に対する支援を拡充します。 特別高圧受電者:補助上限400万円/月 LPガス使用者:値引き原資を支援 上限2万円
省エネ・省CO <sub>2</sub> 設備導入 支援事業【県】	省CO <sub>2</sub> 効果の高い省エネ設備の導入を支援します。 高効率空調設備・高効率給湯設備・調光制御機能付LED:補助上限250万円
省エネ関連設備導入等 に対する支援【国】	工場や事業場の省エネ設備の更新に対し、助成や利子補給、低利融資を行います。 また、エネルギー利用最適化診断の費用助成もあります。

まずは「総合相談窓口」までお気軽にご相談ください！

#### 嶺北 《事前予約制》

TEL 0776-67-7421

相談日時:毎週月曜日～金曜日 9:00～17:00

相談場所:福井県産業情報センター 3F  
総合相談窓口  
(坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16)

※コーディネーターの当番日は右記の総合相談窓口HPからご確認ください。事前予約の方優先の対応となりますのでご予約をお勧めします。

夜間相談対応日 8月31日(木)、9月28日(木)

#### 嶺南 《事前予約制》

TEL 0770-22-0031

相談日時:毎週火曜日・水曜日・金曜日  
9:00～17:00

相談場所:アクアトム2F 嶺南サテライトオフィス  
(敦賀市神楽町2-2-4)

※水曜日・金曜日:前野・友田コーディネーター、火曜日:よろず支援拠点のコーディネーターが相談対応しております。ご予約がない場合は、企業訪問等で不在にしている場合がありますので面談希望の場合は事前予約をお願いします。

総合相談窓口  
ホームページ



相談予約は  
こちらから！



## よろず支援拠点 経営Q&A

企業認定制度活用編



### 疑問の概要

健康経営優良法人等の企業認定制度を活用して求人・採用活動や現在働いている従業員のモチベーション向上につなげたいがどのようなものがあるのだろうか？

様々な機関が行う企業認定制度は、特定の分野において優れた業績や遵守基準を満たした企業を認定することで、信頼性や品質の高さを示すための制度です。

認定を取得することで企業の活動が公に認められ、消費者や取引先、投資家などの利害関係者に対して、企業の信頼性や品質の高さを証明することができるため、これらの制度を取得することは、企業にとってさまざまなメリットがあります。

### ◎企業認定制度を取得するメリットについて

企業認定制度には、国等の行政機関が実施しているものから、民間団体が実施しているものまで、さまざまです。まず、認定制度取得による一般的メリットを確認してみましょう。

**1.信頼性と評判の向上:** 認定制度の取得は、企業の信頼性と評判を向上させます。認定マークや認定証を使用することで、消費者や取引先は企業の品質や遵守能力に対して高い信頼を持つようになります。

**2.市場での差別化:** 認定制度は、競争の激しい市場において企業を差別化するための有利な要素となります。認定マークや認定証は、競合他社との比較において、企業の信頼性や品質の高さを示す重要な指標となります。

**3.新規顧客の獲得と既存顧客のロイヤルティ向上:** 認定制度を取得することは、新規顧客の獲得や既存顧客のロイヤルティ向上につながります。消費者は信頼できる企業を選ぶ傾向があり、認定マークや認定証を持つ企業に対して好意的な印象を持ちます。

**4.メディア露出の増加:** 認定制度を取得することで、企業の取組や成果がメディアで取り上げられる機会が増えます。認定された企業は、業界誌や専門メディア、ニュースなどで紹介されることがあり、広報効果が期待できます。

その他にも東京証券取引所での上場企業の中から健康経営に優れた企業を「健康経営銘柄」として選定されるといったメリット等もあります。

### ◎企業認定制度を採用活動等に活用する

ご相談のあった経済産業省が創設した「健康経営優良法人認定制度」は、企業の健康経営に対する取組を評価し、優良な健康経営を実践している企業を認定するものです。

認定を取得するためには一定の基準をクリアする必要がありますが、企業が従業員の健康を重視し、働きやすい環境づくりや健康づくりの取組を行うことで企業と従業員の双方にとってプラスの効果をもたらすことが期待されます。

また、企業認定制度の採用活動での活用においては、ご相談のあった「健康経営優良法人」の他に、厚生労働省が認定するユースフル認定制度、くるみん認定制度、えるぼし認定制度など、様々な企業認定制度が採用活動において活用されています。これらの認定を受けた企業は、特定の基準を満たしていることが公的な認定によって証明されており、求職者にとって魅力的な職場としての評価が高まります。

求職者にとっても企業にとってもメリットがあるため、これらの認定制度は採用活動において積極的に活用されることがあります。企業は、自社の特徴や目指す方向性に合った認定制度を選び、それを活かした採用戦略を展開することで、優秀な人材の獲得や企業イメージの向上を図ることができます。



### お役立ちツール紹介

#### ◆経済産業省:

##### 健康経営優良法人認定制度について

- 健康経営優良法人の申請については経済産業省のHPからご確認ください。



#### ◆厚生労働省

##### ①ユースフル認定企業



##### ②くるみん認定制度



##### ③えるぼし認定制度



##### ④もにす認定制度



福井県よろず支援拠点では、専門家が各種経営相談に無料でお応えしています。お気軽にお問い合わせください。

お申し込み・お問い合わせ先



福井県よろず支援拠点

TEL:0776-67-7402 E-mail:yoro-zu@fisc.jp



# Start a New Project

## 企業経営者からエンジェル投資家に転身 県内のベンチャー支援に新風を

株式会社AMC

エンジェル投資家という存在をご存知でしょうか。エンジェル投資家とは、創業間もない企業に投資する個人投資家のごとで、その多くが元実業家や大手企業の経営者です。資金需要の多いアーリー期のスタートアップ企業に手を差し伸べる存在であるところから、エンジェル(天使)と呼ばれています。ここ数年、都市圏では増えていますが、地方で活動するケースはまだまだ少ないようです。

今回のStart a New Projectでは、企業経営者からエンジェル投資家に転身し、今春より活動を本格始動した、株式会社AMCの山口社長の事例をご紹介します。



代表 山口 康生氏

所在地 福井市水谷町39-1 TEL 080-3277-0712  
✉ amcceo@gmail.com

### 企業経営者からエンジェル投資家に転身

山口氏は、昭和32年生まれの65歳。株式会社日本エー・エム・シーの社長を22年間務めた後、65歳の区切りを機に、2023年4月よりエンジェル投資家としての活動をはじめました。

山口氏が応援したいのは、ビジネスモデルをもっているスタートアップ企業で、可能性を感じる企業者には、経営のアドバイスはもちろん、「1社あたり100~300万円の投資も積極的に行いたい」と話します。



山口氏が長年社長を務めていた株式会社日本エー・エム・シーは、建設機械向けの高圧配管用金属継手の市場で日本一のシェアを獲得しているニッチトップの会社です。福井、中国、タイ、フィリピンの4カ国5拠点で展開しています。



(上)ホース接続用継手  
(下)フィリピン・マニラAMC

山口氏は、一代で事業を築き上げた創業者である父親の跡を継ぎ、さらなるグローバル化と業容拡大を実現。二代目社長として務めた22年の間で、売り上げは20億円から80億円まで拡大しました。後継者が不在であったことから、2022年11月にファンドに株を売却し、その売却益を元手に、2023年4月よりエンジェル投資家に転身しました。

### 第二の人生は「恩送り」をしていきたい

「県内起業家の育成に携わりたいという気持ちは前々からあった」と山口氏。自身が44歳で社長になった当時、取引先であった株式会社小松ゼノアの児嶋会長から、社長としての心構えを徹底的に仕込まれた経験が原体験となり、その後の社長人生に大きな影響を与えたと振り返ります。「社長業の肝は、実際に社長を経験した者にしか伝えられない。恩送りのつもりで、第二の人生は起業家の育成に取り組みたい」と話します。

### 福井から第二第三のパンテスを

山口氏は、当センターが主催するピッチイベント「福井ベンチャーピッチ」にも、聴講者として継続参加しています。第5回福井ベンチャーピッチ(2020年3月)に登壇した、「あん食パン」が看板商品の株式会社PANTES365Japan 今井薫社長の発表に成長可能性を感じ、東京に直営店を出す資金を出資されました。山口氏から出資を受けたことを機に、今井社長は都内を中心に多店舗展開し、現在はフランチャイズビジネスに着手されています。

今井社長はエンジェル投資家としての山口氏の存在について「資金面はもとより、経営のアドバイスや人脈、情報など、あらゆる側面から弊社の発展に力を貸してくださる最高のビジネスパートナー」と話します。



山口社長と今井社長

### 県内のベンチャー支援に新風を

「福井ではエンジェル投資家を名乗って活動する人はまだまだ少ない。企業経営者としてのこれまでの経験を活かして、自分なりの方法で福井のスタートアップ企業を育てていきたい」と意気込む山口氏。

ぜひ山口氏には県内のベンチャー支援に新しい風を巻き起こしていただきたいと思います。

今回の「福井ベンチャーピッチ」は2023年11月15日に開催予定です。登壇に興味のある方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

<https://www.s-project.biz/>

執筆者: 新産業支援部 ベンチャー・EビジネスG 岡田留理



# デジタル変革への 挑戦!

県内企業のデジタル活用事例紹介

県内企業のデジタル活用事例をご紹介します本コーナー。今回は、建築物の外壁調査にドローンの活用を始めた前田工務店(あわら市)の事例をご紹介します。

## 建築物の外壁調査にドローンを業務プロセスへのデータ活用も視野に

建築の企画・設計・施工を手掛ける前田工務店。同社は昨年、建築物の外壁調査にドローンを導入しました。これまで手作業で行っていた調査をドローンで行うことで時間の低減や、コストダウンを図ることが狙いです。

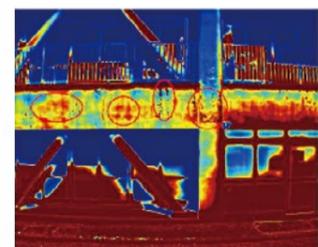
### ドローンを導入し、建築物の赤外線調査を

同社がドローンを導入した背景には、国土交通省がドローンによる赤外線調査の精度は従来の調査方法と同等の精度を有するということが明確にされています。これを受けて同社は、ドローンによる外壁の赤外線調査を実施するための準備を開始。ドローンの民間資格取得や、赤外線建物診断を行うための講習を受講したそうです。

同時にドローンの選定も進めていきました。赤外線カメラを搭載していることや持ち運びが容易であるといった点を重視し選定したとのこと。購入に当たってはDX加速化補助金を活用し、安全に操作できるようガイドロープも購入しました。ドローンによる調査について、担当の前田氏は「足場の設置が不要になりますし、高所作業がなくなるので作業者の危険性を減らすことができます」と説明します。

### 県内3施設でプレ運用、今後の課題も発見

ドローン購入後、県内3施設から協力を得て、赤外線調査のデモを実施。実際に調査を行うことで見えてきたメリット・デメリットもあるそうで、前田氏は、メリットとして「作業による精度のバラつきがなくなる」



実際の赤外線画像。



同社が導入したドローン、赤外線カメラも搭載している。

点、デメリットとして「天候に左右される」点を挙げます。また「ドローン調査はまだまだ発注者の方々の認知が低い分野です。発注者の方々にメリットやデメリットをしっかりと伝えられるように、実績と経験を積み重ねていきたいですね」とも話します。

### 調査データの業務プロセスへの活用を視野に

「今後はドローンで取得したデータを業務プロセスの中で活用することも視野に入れていきたいですね」と前田氏。「お客様にとってドローンやVRといったものは、あくまでオプションの一つという位置づけです。リフォームや建築が本業になるので、こちらの業務プロセスにドローンで取得した写真や3次元データを活かして、相乗効果を生み出すことができれば」と意気込みます。

### 会社概要

#### 前田工務店

[建設業(建築の企画・設計・施工)]

代表者名: 前田 幸雄氏 所在地: あわら市市姫4丁目6-55  
HP <https://www.maedakoumuten-awara.com/>

### お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター DX推進チーム  
TEL: 0776-67-7416 FAX: 0776-67-7439 E-mail: dx-g@fisc.jp

### 特設サイトで公開中です

DXラボでは、福井県内企業40社のデジタル活用事例を特設サイトで公開中です。IT関連企業の情報も掲載していますので、情報収集にご活用ください。



ふくいDXオーファンボ公式サイト

サービス業界で働く方々を助ける・守る

## 法的知識と対応スキル および裁判例

日 時: 9月5日(火) 9:30～16:30  
会 場: 福井県中小企業産業大学校  
受講料: 22,000円(消費税込)  
講 師: 京都みらい法律事務所  
弁護士 秋重 実氏

サービス業界で働く方々が、会社内外で直面し得る法的トラブルについて、個人ワークやグループワーク、ロールプレイングを通じて実践的に学びます。

### プログラム内容

- ✓「カスタマーハラスメント」とは? ～クレマーから従業員を守る～
- ✓「個人情報」とは? ～「個人情報」の漏えいを防ぐ～
- ✓SNS活用の留意点 ～著作権との関係や炎上問題から学ぶ～



本質を捉える力を身につける

## 管理者のための マネジメント力強化セミナー

日 時: 10月3日(火)・4日(水) 9:30～16:30  
会 場: 福井県中小企業産業大学校  
受講料: 33,000円(消費税込)  
講 師: 株コンサルティング・フェア・ブレイン  
代表取締役 関根 利和氏

管理者には、組織と仕事をやりくりするマネジメント能力が求められ、課題を設定し組織力を結集しながら成果を出していく、最適な仕事の進め方を理解することが必要です。この研修では、マネジメントの原理原則や本質を捉える考え方(コンセプチュアルスキル)を、ケーススタディを通して具体的に学びます。

- こんな方に おすすめです!
- 管理能力を磨き、組織力強化につなげたい方
  - 業績を向上させるための原理原則を学びたい方

業務の標準化・スムーズな引継ぎをするための

## 「ミスゼロ」マニュアル作成 入門セミナー

日 時: 9月13日(水) 9:30～16:30  
会 場: 福井県中小企業産業大学校  
受講料: 22,000円(消費税込)  
講 師: 株ビジネスプラスサポート  
人材育成プロデューサー 麻野 由佳氏

業務を標準化し、最適な手順を職場のメンバーで共有することで、改善していく流れが定着します。マニュアル作成は業務や作業を行うためのだけのものではなく、品質を向上させ、業務の効率化や生産性の向上にもつながります。この研修では、組織で取り組むマニュアル作成から「ミスゼロ」のための活用までについて、実践的に学びます。

- こんな方に おすすめです!
- 業務の標準化をめざしたい方
  - 社内マニュアルの引き継ぎに困っている方

営業・販売・企画担当者のための

## 説明力・プレゼンテーション力 強化セミナー

日 時: 10月13日(金) 9:30～16:30  
会 場: 福井県中小企業産業大学校  
受講料: 22,000円(消費税込)  
講 師: 株エス・シー・ラボ  
代表取締役 田中 和義氏

なぜ、あなたの話は伝わらないのか? 簡潔でわかりやすい説明をすることは、多くの時間を節約することに繋がります。顧客や社内からさらに信頼感を得られるよう、スキルの向上をめざす講座です。

### プログラム内容

- ✓ 説明が上手にできない人の5つの特徴
- ✓ 説明を強化する7つのポイント
- ✓ ビジネスシーン別 説明の方法
- ✓ 効果的な伝え方の技術



# GOOD DESIGN

2022年度  
グッドデザイン賞



## 鉄芯木製法枠 [ネイチャーフレーム] / 前田工織株式会社

自然環境の保全・再生を目的に、のり面侵食防止対策の一つの手法として日本の気候・風土を踏まえながら、人工構造物と生態系インフラストラクチャーの特性を組み合わせた木製鉄芯軽量法枠です。また、地球温暖化対策としての森林育成には間伐が不可欠であり、この間伐材と鉄芯を使用し景観と施工性に優れたデザインを追求しています。

木材の芯部にボルトを通す「鉄芯工法」を採用しており、それぞれの部材を全ネジボルト、角ワッシャー、ナットで固定するため、従来の木製品の課題であった連結部(交点部)の強度を向上させた点が特長です。さらに部材はパネル化されており、全部材が一体化することによる強度向上と、原料を木材にすることで、工事にコンクリート基礎を使用しないことによる軽量化、省力化および施工性向上に繋がっています。木を主材料としているため、公園や海沿いなど景観を壊したくない場所でも周辺環境に良くなじみ、景観にも配慮しつつ、侵食防止対策と緑あふれるまちづくりを推進しています。また、全国の提携工場での土地の地元間伐材を加工し出荷しており、地域の生産者と消費者が連携し、両者が地元の資源や人材を地元で活用・消費することで、域内循環を高めて地域経済の発展・活性化を促す「産消協働」の推進にも貢献しています。

### 【審査委員の評価】

担当審査委員 | 伊藤 香織 安東 陽子 五十嵐 太郎 平賀 達也 山崎 健太郎

気候変動による自然災害が国内外で多発している中、災害市場とも呼ばれる新たな巨大マーケットが生まれつつある。その一方で、2030年のSDGs目標達成や2050年に向けたカーボンニュートラル実現などの国際ルールは、災害市場においても生態系に配慮した工法やゼロエミッションによる製品しか生き残れない状況を創り出している。それらの背景を踏まえ、本プロダクトの開発理念、そして森林育成や産消協働に貢献する取り組みは素晴らしいものがある。欲を言えば、鉄芯の素材を自然由来の素材で代替し木材と同じ速度で土に還すことができるようになれば完璧である。本プロダクトの応援者として更なる進化を期待したい。

お問い合わせ先



人材育成部(福井県中小企業産業大学校)  
福井市下六条町16-15  
電話0776-41-3775 E-mail manabi@fisc.jp

お申込みはホームページから

中産大

## 情報誌F-ACTの裏面広告を募集しています！

本誌F-ACTでは、毎号裏面広告を募集しています。ぜひご活用ください。

**掲載時期：奇数月の25日(要相談)**  
**料 金：49,500円(税込)**

※広告データは原則、イラストレータ形式でお願いします。他のデータ形式の場合、要相談。

発行月の10日までに広告データをお送りください。ご利用をご検討の方はお電話またはメールでご相談ください。



### お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター F-ACT編集担当  
TEL 0776-67-7425 E-mail kouhou-g@fisc.jp

## 伴走型DX推進プロジェクトの募集を行っています

(公財)ふくい産業支援センターでは、企業が自立的にDXに取り組むための体制整備を支援するため、DX支援の実績豊富な専門家が企業を最大8回訪問し伴走支援を行う「伴走型DX推進プロジェクト」を実施します。

先着5社限定<sup>(※)</sup>で随時お申込みを受け付けており、お申込みを希望される企業の方には、申請に係る支援も行っております。

※支援を実施する企業は、審査の上決定します。

お申込みに関する御相談は随時受け付けておりますので、お気軽に御連絡ください。



### お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター 新産業支援部  
TEL 0776-67-7416 E-mail dx-g@fisc.jp

## サテライト講座の受講者を募集しています！

サテライト講座は、東京の教室で行われている研修を、ふくい産業支援センターの特設ブースで受講できる新しい研修スタイルです。これまで首都圏でしか受講できなかった専門的な研修を、公的機関ならではのリーズナブルな料金で実施します。ぜひ、社員教育やリスクリングにご活用ください！

※お申込みは「福井県内企業」または「福井県内の個人」に限定させていただきます。

### 《コンテンツ提供》

(株)富士通ラーニングメディア  
(FLM)



### お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター IT研修担当  
TEL 0776-67-7411 E-mail pckouza@fisc.jp

## 次世代技術国際発信支援事業助成金の募集を行っています

「次世代技術国際発信支援事業」は、国際感覚を有する技術者育成のため、福井県内中小企業が海外における学会・展示会等へ若手技術者(45歳以下)を派遣する際の経費を助成する事業です。助成対象経費は海外の学会や展示会等への派遣に要する費用(旅費、出展費用等)が対象です。オンライン開催およびオンライン/実地併催も含まれます。助成金の額は対象経費の1/2以内とし、1申請当たり30万円を上限とします。

詳細はHPでご確認ください。



### お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター  
オープンイノベーション推進部 ネットワーク推進室  
TEL 0776-55-1555

## デジタルで遊ぶ！「KUMANDO WEEK」 友人や親子で参加できる体験イベントご紹介

参加  
無料

デジタルを学ぶ！デジタルで遊ぶ！イベント「KUMANDO WEEK 2023」(会期：9月7日(木)～10日(日)、場所：福井県産業情報センター)。本誌9～10ページに続き、友人や親子等で楽しくご参加いただける体験イベントをご紹介します。多数のご参加をお待ちしています！

### 見どころ① ドローンで遊ぶ！プログラミングを学ぶ！イベント多数開催

小学校低学年から大人まで幅広く遊べるドローンやプログラミング体験をご用意しています。ご友人や親子でのご参加をお待ちしています。



#### 9/9(土)

- ドローンDE鬼ごっこ 2023バージョン!  
【対象：小学生以上のお子様と保護者】  
ドローンでお友だちのラジコンをつかまえよう！去年の人気のリアルゲームがバージョンアップして帰ってきました。

遊ぶ

#### 9/10(日)

- ドローンアカデミー 協力：さかい飛行倶楽部  
【対象：どなたでも参加できます】  
ドローンについて楽しく学ぼう！そして飛ばしてみよう！5分ぐらいで、ドローンの仕組みや飛ばし方が分かります！小さなお子様も自由に飛ばせます。(15分程度/回)

- 親子で参加！ドローン体験 協力：コアット  
【対象：小学生(3年生以上)のお子様と保護者】  
ドローン进行操作してお菓子をつかみ取り！親子で楽しく参加できるドローン体験イベントです。

- 親子ドローンプログラミング教室 協力：学び舎Explorer  
【対象：小学生以上のお子様と保護者】  
プログラミングでドローンを思いどおりに操作。小さなお子様でもチャレンジできます。

- プログラミング教室  
【対象：小学生以上のお子様と保護者】  
こどもパソコン「IchigoJam」を使い、ゲーム作りを体験いただきます。初めてキーボードを触ることもたちでも安心なメニューでプログラミングを楽しく学べます。

### 見どころ② 9/10(日) eスポーツ体験会

協力：福井県eスポーツ連合

どなたでも参加できるeスポーツ体験会を実施。

ステージでは最高得点を争う記録会も開催します。「ぶよぶよeスポーツ」ではプロゲーマーの参戦も予定。ぜひチャレンジしてみてください。



太鼓の達人™ドンダフルフェスティバル & ©Bandai Namco Entertainment Inc.

- 見どころ③ 屋のひとときを楽しんでいただく「ランチタイムコンサート」(9日)を開催します。KUMANDO WEEK 2023のためのスペシャルユニットが、誰もが知っている名曲や映画音楽、ゲーム音楽等を生演奏。また、キッチンカーの出店も予定しています。

詳細情報は専用サイトで順次公開

kumandoweek

※各イベントの予定は変更になる場合があります。



お問い合わせ  
fisc 公益財団法人 ふくい産業支援センター  
KUMANDO WEEK(クマンドウウィーク)担当  
TEL 0776-67-7425 E-mail kumando-week@fisc.jp

情報収集と情報発信、企業・イベントPR等に！  
「ふくいナビ」をご活用ください

(公財)ふくい産業支援センターでは、県内企業の皆さまの経営に役立つ情報を集めたポータルサイト「ふくいナビ」を運営しております。「ふくいナビ」では、下記のようなサービスを提供しておりますので、ぜひご活用ください。

イベント情報や公募情報などをまとめて見られる！

県内中小企業支援機関による講演会・セミナー等のイベント情報や、国・県等による助成金等の公募情報など、経営に役立つ情報が盛りだくさんです。

メルマガ、メーリングリストを無料で提供！

企業と顧客、あるいは企業同士でのコミュニケーション・ツールとして利用できる、メールマガジンやメーリングリスト等の機能を、無料で提供しています。

ビジネス情報を自ら発信！

県内中小企業の皆さまが、自社で開催するイベントや新製品の情報などを自ら発信することができます。



毎週月曜日、「ふくいナビ」の情報の中からタイムリーな情報をお届けするメルマガジン『週刊！ふくいナビ情報』を配信しています。配信をご希望の方はメールアドレスをご登録ください。

お問い合わせ先  
ふくいナビ運営事務局  
【(公財)ふくい産業支援センター One to Oneサービス推進部】  
TEL.0776-67-7425 E-mail info@fukui-navi.gr.jp



本誌「F-ACT(ファクト)」を活用して会社をPRしよう！

企業情報メール便

販路開拓のチャンス！  
本誌にチラシを同封できます

本誌では、企業情報メール便（チラシ同封サービス）を毎号実施いたします。配送先は、県内事業所約1,700社です。この機会に、貴社の商品・サービスを幅広く紹介しませんか？



●次回実施号  
VOL.61 9月25日発行予定  
チラシ提出締切日：9月19日(火)  
チラシ1,700部をご提出  
(持参または配送) 願います。

	同封するチラシ・パンフレットのサイズ	料金(税込)
料金	A 4判以下のチラシ	6,600円
	A 4判超～A 3判以下のチラシ (二つ折にしてA 4判以下のサイズにすること)	9,900円
	A 4判以下のパンフレット (10ページ程度まで)	13,200円

※チラシ・パンフレット1種類当たり1回分の同封料金です。

ご利用を検討の方は、事前に、電話または電子メールにてご連絡ください。1号につき約10社まで受け付けます。なお、申込状況および掲載内容によりお断りする場合があります。

お問い合わせ先 (公財)ふくい産業支援センター One to Oneサービス推進部 F-ACT担当  
TEL.0776-67-7425 E-mail kouhou-g@fisc.jp

本誌に関するお問い合わせは

fisc 公益財団法人 ふくい産業支援センター <https://www.fisc.jp/>  
One to Oneサービス推進部  
TEL 0776-67-7425/FAX 0776-67-7429/E-mail : kouhou-g@fisc.jp  
〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16 (福井県産業情報センタービル内)

皆様の声を  
お聞かせください!!

「〇〇が面白かった、ためになった」、  
「△△をもう少し□□にしたらどうか」、  
「●●のテーマについて紹介して欲しい」、  
「▲▲会社がやっている■■■について取り上げて欲しい」など、本誌を読んだ感想や、要望など、皆様のご意見をお待ちしております。

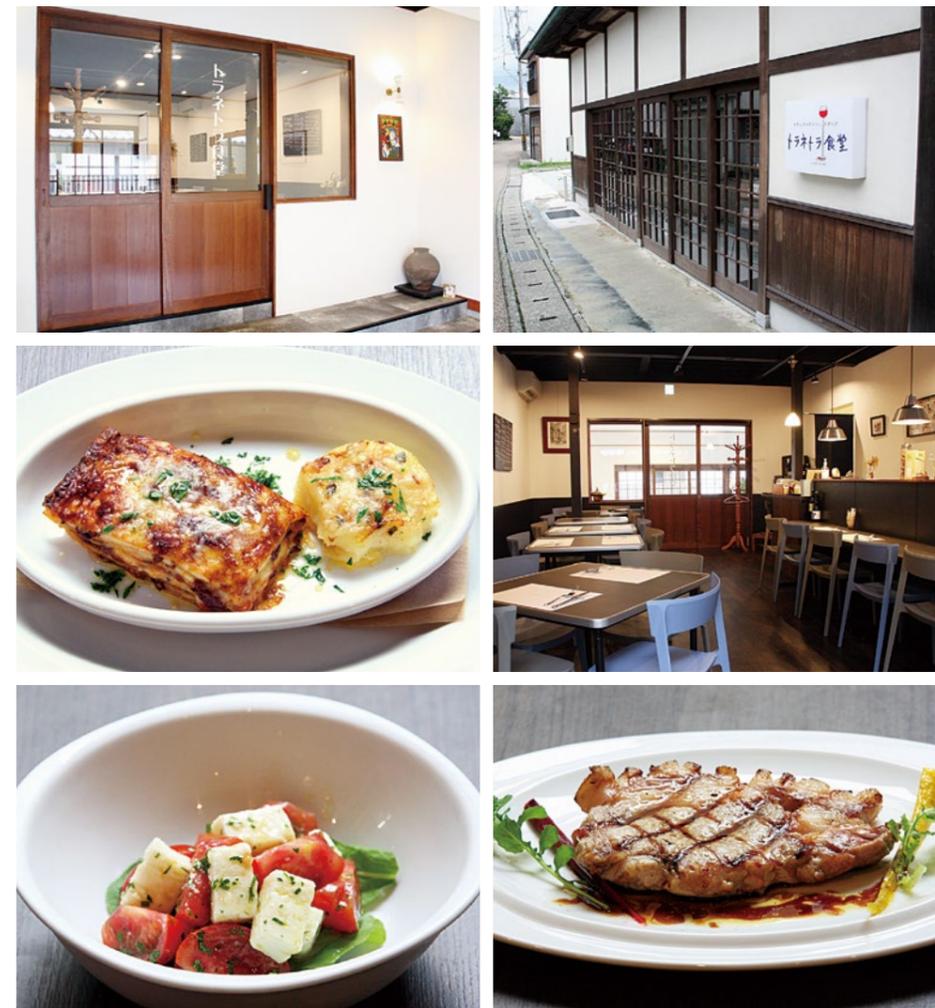
編集後記

こんにちは！最後まで読んでいただきありがとうございます。

今号では「デジタル技術活用への挑戦」と題し、デジタル技術を活用して事業を展開する企業や業務の改善を行う企業の皆様にお話を伺って参りました。AIを活用する企業、システム開発を行った企業、デジタル技術を活用して起業した方々など様々ですが、いかがだったでしょうか。今回お届けした内容がお役に立てば幸いです。ふくい産業支援センターでは、IT研修やDXオープンラボの開設など、DX推進に役立つ事業も行っておりますので、お気軽にご利用ください。取材にご対応いただいた皆様には改めて御礼申し上げます。

また、9月7日～10日にかけてKUMANDOWEEKを開催いたします。平日をビジネスSIDEと題しITやDXに関するセミナー、休日はおもしろSIDEとしてドローン体験やナレーションセミナーを開催します。今号にも案内を掲載しておりますので、ぜひご参加ください！

次号の発行は9月25日を予定しております。引き続きご愛読のほど、よろしくお祈りいたします。



トラネトラ食堂

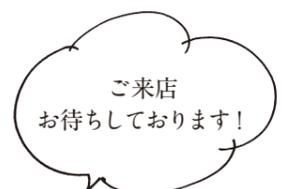
三国湊にレストランがオープン  
古民家を改装した店舗でイタリアンを

2023年2月、三国湊にオープンした「トラネトラ食堂」。同店では、30年以上の調理経験を持ち、6年前に帰郷した店主・南 徹氏がイタリア料理をふるまいます。荒島ポークのグリル、あわら市にある牧場の牛乳を使用した自家製リコッタチーズとトマトのサラダなど、福井の食材を使用したメニューも多数。南氏は「帰郷してから福井の農家さんや水産業の方々と繋がることができました。福井の食材の美味しさをより多くの人に伝えることができるように、お店を成長させていきたいですね」と話します。

古民家を改装した店舗は、三国湊の街並みになじむようにと外観をそのまま残しながら、内装は現代的な仕上がりに。店舗内からは坪庭を眺めることもでき、落ち着いた空間で食事を楽しむことができます。「古民家らしい部分はできるだけ残すように改装を行いました。料理はもちろんですが、店舗の雰囲気も楽しんでいただけたら幸いですね」

古民家の風情も感じられるトラネトラ食堂で、こだわりのイタリアンを味わってみてはいかがでしょうか。

活用事業：令和4年度 おもてなし産業魅力向上支援事業助成金



トラネトラ食堂  
住所：坂井市三国町南本町4丁目12-20  
TEL:0776-97-6302  
営業時間：11:00～13:30  
17:30～20:00  
定休日：水曜日、木曜日

県内企業が打ち出した気になる新スポットにマン( )編集担当が訪問。その空間に込められたコンセプトやこだわり、企業の想いをお届けします。

話題の  
新スポット巡礼

No.32



ふくぎんCO<sub>2</sub>排出量算定サービス

# CO<sub>2</sub>

## 測ることから はじめませんか？



脱炭素経営に取り組む企業を福井銀行がサポートします。

### 脱炭素化に取り組むメリット

- 脱炭素への取り組みをステークホルダーに伝えることで、信頼・好感度の向上が期待できる
- 環境意識が高まる中で、対応していない企業と差別化できる
- 温暖化への対応により、成長の機会を獲得できる



### CO<sub>2</sub>削減ダイエットで“脱炭素社会”を実現!!



#### CO<sub>2</sub>排出量を把握する

GHGプロトコルと呼ばれる国際規格で事業活動による地球へのダメージを把握



#### 削減目標を設定する

SBT水準と呼ばれる目標をもつ



#### 情報開示する

毎年、進捗をきちんと情報開示する



いつも、いつでも、いつまでも。

# 福井銀行